

汗疱状白癬、頑癬、癩風其他ノ表在性 絲状菌症ニ對スル1新治療薬ニ就テ

岡山医科大学皮膚科泌尿器科教室(主任皆見教授)

醫學士 榎垣律夫

一般淺在性絲状菌病ニ對シテハ既ニ種々ノ療法アルモ時ニハ治療可ナリ困難ナルモノアリ。殊ニ汗疱状白癬俗ニ所謂水蟲ニ對シテハ士肥氏爹兒膏、Wilkinson 氏膏、「サリチル」酸酒精、或ハ「アスター」其他ノ賣藥多ク、ソレ等ノ有效ナルコトアレドモ亦可ナリ頑固ナルコト屢々アリ。大連病院ノ坂本氏偶々水蟲ノ藥ヲ創製シソノ效果試験ヲ我ガ教室ニモ依頼サレシタメ種々白癬患者ニ使用シ相當使用ノ價值アルモノナルコトヲ確メ數十例ニ使用セルモ茲ニハ成績分明セル治験例 33 例ニツキ報告スペシ。

本剤成分ハ大約「サリチル」酸「ナトリウム」、「アセチールサリチル」酸、「ペルガモット」油、「メチレン」青及ビ「アルコホール」ヨリナリ使用ハ1日1—2回ヲ原則トシ症狀ニヨリテハ1—2日休止シテ復タ始ムルコトセリ。使用ニ際シテハ小水疱ハ針ニテ潰シ又ハ鉄ニテ切り開キテ塗布セルモ中ニハ水疱上ヨリ塗布セルモアリ。潰瘍面廣汎ナルモノニアリテハ屢々劇シキ疼痛ヲ訴ヘシタメ局所ニ「リゾール」浴、軟膏類等ヲ用ヒテ表皮形成ヲ待チテ本剤ヲ使用セリ。本剤ハ假リニ Pompholin ト命名シ症例中ニハ P ナル符號ヲ以テ表ハスコトセリ。

症例中絲状菌ヲ證明セルモノ多キモ其菌學的研究等ハ茲ニハ省略シ臨牀經過ノ報告ヲ主トセリ。

症 例

第1例 田中某 18歳 女 農

診斷 汗疱状白癬

主訴 手趾ニ指ニ於ケル發疹

既往現症歴ニ經過 10月前ヨリ指ニ水疱ヲ生ジ瘙痒感强大ナリシタメ搔破シテ糜爛ヲ來シ種々治療シテ一時良好トナリタルモ近時再ビ増悪シテ今日ノ状態トナル。即チ全指ノ屈側並ニ示指ノ根部ニ糜爛アリテ周邊ハ發赤セリ。手掌ニモ同様ノ發疹アリ。Pヲ投與シ1日1回塗布セシメシニ3週間後ニハ症狀輕快セルヲ見タリ。

第2例 石井某 41歳 男 商

診斷 汗疱状白癬

主訴 右手3指ニ於ケル發疹

現症歴ニ經過 右手ノ中指、無名指、小指ニ瘙痒甚ダシク搔破シテ糜爛ヲ生ゼリトイフ。足趾ニモ鱗屑

形成アリ。Pニテ治療セルニ6日後ニハ既ニ症狀ノ大イニ輕快セルヲ見タリ。

第3例 田中某 29歳 男 鍛冶屋

診斷 汗疱狀白癬

主訴 手掌ニ於ケル皮膚鱗裂

既往現症並ニ經過 約2年前ヨリ指間ニ於テ輕度ノ瘙痒感アル小水疱ヲ生ジ漸次皮膚面ガ粗雑トナリ最近ニテハ右手掌並ニ全指ニ鱗裂アリ。手背ハ正常。Pヲ投與セルニ18日後ニハ落屑後大イニ輕快セルヲ見タリ。

第4例 栗田某 16歳 男 學生

診斷 汗疱狀白癬

主訴 兩足ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約10年前ヨリ兩足ニ瘙痒性ノ發疹アリテ種々治療セルモ治應セズ。現在ニテハ全趾ニ角化増殖アリテ輕度ノ鱗屑形成アリ。Pヲ投與セルニ患者ノ薬品使用不規則ナルモ3箇月後ニハ症狀殆ド治應セルヲ見タリ。

第5例 山本某 21歳 男 農

診斷 汗疱狀白癬

主訴 兩側手掌並ニ足蹠ニ於ケル瘙痒感並ニ鱗屑形成

既往現症並ニ經過 2—3年來手掌及ビ足蹠ニ小水疱アリテ強烈ナル瘙痒感アリ。搔破又ハ自然ニ潰エテ鱗屑ヲ形成ス。一般ニ夏季ニ症狀増悪シ冬季ニ良好ナリキ。現在手掌ハ兩側トモ侵サレ小水疱並ニ其ノ水疱膜片ヲ認ムルモ足蹠ハ殆ド變化ナシ。Pヲ使用シテ1箇月後ニハ輕快。目下入管中ナリ。

第6例 石故某 39歳 男 事務員

診斷 汗疱狀白癬

主訴 左足ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約4年前ヨリ毎夏足蹠ニ瘙痒性發疹ヲ生ジ冬季ニハ自然ニ治應スルヲ常トセリ。現在ニテハ左足ニ於テ足蹠及ビ足背ニ輕度ノ鱗屑並ニ粟粒大ノ小水疱疹アリ。左手中指ニモ數箇ノ小水疱疹ヲ認ム。Pヲ投與セシニ1箇月後ニハ可ナリ輕快シ45日後ニハ全ク治應セリ。本例ハ途中ニ發赤及ビ丘疹ヲ生ジ刺載症狀甚ダシカリシヲ以テ後ニハ濕疹ノ治療ヲ施シタリ。

第7例 岡崎某 30歳 男 無職

診斷 汗疱狀白癬

主訴 右拇指並ニ示指ニ於ケル瘙痒性鱗裂形成

既往現症並ニ經過 約3年前ヨリ上述ノ症狀アリテ夏、冬ニヨリテ變化スルコトナシ。現在ニテハ右側拇指、示指並ニ無名指基底部ニ小水疱並ニ鱗屑形成アリ。Pヲ使用セルニ1週間後ニハ落屑アリテ症狀輕快シ2週間後ニハ全ク治應セルモノナルガ2箇月後再發ヲ見タリトイフ。

第8例 新谷某 34歳 女

診斷 汗疱狀白癬

主訴 左側手掌ニ於ケル色素異常沈着

既往現症並ニ經過 約2年前ヨリ左側手掌ニ水疱ヲ生ジタルガ現在ニテハ第3指間ニ數箇ノ小水疱アリ、又左側手掌ノ中央並ニ無名指ニ境界明瞭ナル黃褐色斑アリ。Pヲ使用セルニ6日後ニハ症狀輕快シ2週間後ニハ全ク治癒セルモノナリ。

第9例 浅野某 42歳 女 農

診斷 汗疱状白癬

主訴 右側手掌ニ於ケル水疱並ニ鱗屑形成

既往現症並ニ經過 約3年前ヨリ上述ノ障害アリテ瘙痒感モ亦相當大ナリキ。現在右手無名指、小指ノ基底部ニ數箇ノ粟粒大ノ小疱疹アリ。Pヲ投與セシニ1週間後ニハ水疱ハ潰エ22日後ニハ全ク治癒セルヲ見タリ。

第10例 宮崎某 29歳 男 農

診斷 汗疱状白癬

主訴 手掌及ビ足蹠ニ於ケル水疱形成

既往現症並ニ經過 2年來手掌並ニ足蹠ニ小水疱ヲ生ジ現在モ尙ホ手掌ニ多數ノ粟粒大小水疱疹ノ痕跡アリ。Pヲ用ヒテ2週間後ニ治癒セリ。

第11例 石井某 33歳 男 商

診斷 汗疱状白癬

主訴 手掌並ニ足蹠ニ於ケル瘙痒性發疹

現症及ビ經過 兩手關節部ニ於テ不規則ナル白斑散在シ足蹠ニテハ鱗屑並ニ水疱形成アリ。Pヲ投與セルニ18日目ニハ治癒セルヲ見タリ。

第12例 桑田某 35歳 男 料理業

診斷 趾間白癬

主訴 足背、足蹠ニ於ケル糜爛並ニ痂皮形成

既往現症並ニ經過 3-4年前ヨリ足背、足趾ニ發疹アリタルガ現在ニテハ趾間ハ糜爛シテ白色トナレルヲ見ル。Pヲ投與シ毎日1回塗布セシメシニ16日後ニハ症狀幾分輕快シタリ。

第13例 加來某 21歳 男 雜役夫

診斷 趾間白癬

主訴 兩足趾間ニ於ケル發疹

既往現症並ニ經過 2-3年前ヨリ瘙痒性發疹ヲ趾間ニ生ジタルガ秋季ニハ輕快スルヲ常トセリ。現在ニテハ左側中趾ヨリ小趾マデ趾間ニ扁豆大糜爛アリテ瘙痒感アリ。殊ニ夜間ニ甚ダシ。無名趾小趾間ノ糜爛ハ最モ甚ダシ。右足ニ於テモ同様ノ發疹アリ。Pヲ投與セルニ初メハ其ノ塗布セル部ニ疼痛ヲ訴ヘタルモ最近ニハ痛ミナク使用後6日ニシテ落屑アリ。症狀輕快シテ10日塗布セル後治癒セルタメ放置セルガ其ノ後患者ヲ呼ビテ検査セルニ再發ノ徵アリシタメPヲ投與シ全ク治癒セルモノナリ。

第14例 河合某 68歳 女 無職

診斷 趾間白癬

主訴 兩足趾間ニ於ケル糜爛

現症並=經過 兩足第2—4趾間ニ於テ豌豆大白色糜爛部アリ。Pヲ1日1回塗布セシメシニ11日目ニハ鱗屑形成後可ナリ症狀ノ輕快セルヲ見タルガ其ノ後症狀一進一退ニシテ1月後P塗布ニ際シ疼痛ヲ訴ヘシタメWilkinson氏軟膏ヲ併用シ其ノ後更ニ1箇月ニシテ漸ク殆ド治癒セルモノナリ。

第15例 長谷井某 35歳 男 會社員

診斷 趾間白癬並=頑癬

現症並=經過 右足第4趾間ニ小白色糜爛アリ。Pヲ使用セルモ1箇月後殆ド輕快セズ。其ノ後臀部ニ頑癬ヲ生ジ兩手掌ニ小水疱ヲ生ジタルガPヲ塗布シテ10日目ニハ手掌ニ甚ダシキ落屑アリ殆ド治癒セルモ趾間白癬ハ目下尙ホ治療中ナリ。

第16例 氏平某 30歳 男 醫

診斷 趾間白癬

主訴 右足趾間ノ搔痒性發疹

現症及ビ經過 右足第3, 第4趾間ニ於テ小水疱ヲ有スル搔痒性發疹アリ。Pヲ3回塗布セルニ既ニ表皮ノ剝脱アリテ殆ド治癒セルヲ見タリ。

第17例 尾崎某 21歳 男 事務員

診斷 小水疱性斷髮疱疹

主訴 右頬部ニ於ケル發疹

現症並=經過 右頬ニ於テ輕度ノ瘙痒ヲ伴ヘル1錢銅貨大ノ發疹アリ。圓形ヲナシ邊緣ハ輕度ニ高マルモ中央ニ正常ノ皮膚ナリ。Pヲ投與シ毎日1—2回塗布セシメシニ18日後ニハ鱗屑形成明カトナリ1箇月後ニハ症狀大イニ輕快シテ50日後來院セル時ハ既ニ全治セルヲ見タリ。

第18例 岡野某 56歳 男 會社員

診斷 小水疱性斷髮疱疹

主訴 趾間, 頸部, 陰股部ニ於ケル發疹

既往現症並=經過 既ニ24—25年前ヨリ陰股部ニ時々輕度ノ瘙痒感アル發疹アリ。趾間ニモ亦14—15年前ヨリ小水疱時ニ糜爛アリ。6箇月前ヨリハ左側足關節ニ小水疱ヲ生ジ20日前ヨリハ頸部ニ發疹アリ。現在ニテハ頸部ニ圓形ヲナセル數箇ノ發疹アリテ足ニモ小水疱並ニ糜爛アリ。兩側陰股部ニモ亦暗黒色部アリテ浸潤可ナリ強シ。Pヲ使用セルニ頸部ノ小水疱性斷髮疱疹ハ5日後ニハ落屑明カニシテ症狀輕快シ2週間後ニハ殆ド治癒セリ。

第19例 森本某 19歳 男

診斷 頑癬

主訴 陰股部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並=經過 約1箇月前ヨリ陰股部ニ於テ手掌大ノ發疹アリ。邊緣高マリ中央ハ鱗屑ノ蒙リ瘙痒感ヲ伴フ。Pヲ投與シ1日1回塗布セシメシニ4日後ニハ症狀大イニ輕快セリ。

第20例 梶並某 20歳 男 會社員

診斷 頑癬

主訴 兩側陰股部ニ於ケル發疹

現症並ニ經過 小兒手掌大暗黒色斑ヲ兩側陰股部ニ認ム。境界明割。左下腿，左肩ニモ同様ノ發疹アリ。Pヲ投與セシニ4日後ニハ既ニ鱗屑輕減シ7日後ニハ症狀更ニ輕快シテ15日ニシテ全治セリ。

第21例 大道某 30歳 男 醫師

診斷 頑癬

主訴 兩側陰股部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 5—6日前ヨリ兩側陰股部ニ輕度ノ瘙痒アリテ小兒手掌大ノ發疹ヲ生ズ。邊緣稍々高マリ境界明割ニシテ中央ハ鱗屑ヲ蒙ル。Pヲ使用セルニ1週間ニシテ全治セリ。

第22例 根馬某 18歳 男 農

診斷 頑癬

主訴 上腿並ニ背部ノ發疹

既往現症並ニ經過 約1年前ニ左手關節ニ10錢銀貨大ノ赤色瘙痒性發疹アリ。4箇月前ニ下腿ニ、2箇月前ニ左手背並ニ指ニ擴ガルトイフ。現症ハ腹部並ニ上腿内側ニ於テ小兒手掌大暗赤色ノ發疹ヲ數箇認ム。境界明割ニシテ中央ニ搔痕アリ。背部左側ニテモ同様ノ發疹ヲ1箇認ム。P並ニX光線ニテ治療セルニ21日後ニハ落屑アリテ竈竈清潔トナリ26日後ニハ殆ド治癒ス。尙ホPヲ連用シテ40日後全治ス。

第23例 石賀某 20歳 女 事務員

診斷 頑癬

主訴 臀部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約1年來臀部ニ於テ瘙痒性發疹アリ。邊緣輕度ニ高マリ境界明割。Pヲ與ヘ毎日1回塗布セシメシニ2週間後ニハ既ニ全ク治癒セルヲ見ル。

第24例 右田某 74歳 男 無職

診斷 頑癬

主訴 上腿並ニ臀部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約10年前ヨリ睾丸ニ瘙痒性發疹アリ。現今ニテハ兩側ノ上腿内面並ニ臀部ニ暗黒色發疹アリテ輕度ノ鱗屑ヲ蒙ル。Pヲ使用セルニ1箇月後殆ド治癒セルヲ見タリ。

第25例 渡邊某 40歳 女 商

診斷 頑癬

主訴 背部臀部腹部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約3年前ニ背部ニ瘙痒感大ナル發疹生ジ種々治療セルモ漸次擴ガリテ臀部及ビ腹部ニ至ル。現在ハ臀部ヨリ背部陰股部ニカケテ手掌大ノ發疹4箇アリ。境界明割ニシテ邊緣ニ丘疹アリ。中央ハ鱗屑アリ。Pヲ使用セルニ4日後ニハ落屑甚ダシク12日後ニハ大イニ輕快セルヲ見3週間後ニハ殆ド治癒セリ。

第26例 栗坂某 17歳 男 農

診斷 癩風

主訴 背部ノ白色斑點

既往現症並ニ經過 約1年前ヨリ項部ヨリ脊椎ニ沿ヒテ臀部マデ白色ノ斑點連續セルモ何等苦痛ナカリ

シタメ放置シテ今日ニ至ル。Pヲ投與シテ毎日1回塗布セシメ其ノ他太陽燈モ併用セルガ10日後ニハ落屑大イニ起リテ經過頗ル良好。50日後ニハ第3回落屑ヲ見テ症狀全ク治癒セルモノナリ。

第27例 山成某 18歳 女

診斷 癢風

主訴 胸部ニ於ケル白色斑

既往現症並ニ經過 約3箇月前ヨリ胸部ニ於テ數箇ノ扁豆大ノ白色斑アリ。境界明カニシテ鱗屑形成ハ明カナラズ。一部ニ於テ毛囊ニ一致セル粟粒大白色斑ヲ認ム。Pヲ使用セルニ8日後ニハ症狀輕快シ20日後ニハ漸ク輕度ノ白斑痕跡ヲ認ムルノミ。43日後來院セル時ハ既ニ全治セルモノナリ。

第28例 内田某 21歳 男 石工

診斷 癢風

主訴 背、上肢、胸部ニ於ケル發疹

現症並ニ經過 上述ノ部ニ白色豌豆大ノ小發疹散在ス。Pヲ使用セルニ10日後ニハ鱗屑輕度トナリ14日後ニハ鱗屑殆ド消失シ1箇月後ニハ全ク治癒セルヲ見タリ。

第29例 加藤某 29歳 女 商

診斷 癢風

主訴 背部ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 約1箇月前ヨリ背部ニ不規則ナル白斑ヲ認メ邊縁ニハ毛囊ニ一致セル粟粒大ノ多數ノ發疹ヲ認ム。Pヲ投與シ毎日1-2回患部ニ塗布セシメシニ1週間後ニハ甚ダ輕快セルモノナリ。

第30例 三宅某 21歳 女

診斷 癢風

主訴 頸部胸部及ビ背部ニ於ケル白斑

既往現症並ニ經過 昨年夏頸部ノ左側ニ於テ小白斑多數散在セルモ何等ノ苦痛ナカリシタメ放置セルニ漸次擴ガリテ背胸部等ニ及ビ今日ニテハ上述ノ部ニ扁豆大ノ多數ノ小斑ヲ認ム。Pヲ投與セルニ3週間後ニハ大イニ輕快セルモノナリ。

第31例 中村某 23歳 男 學生

診斷 癢風

主訴 腹部及ビ背部ニ於ケル白色斑點

現症並ニ經過 水泳ニ際シ偶然腹部及ビ背部ニ白色ノ斑點アルコトヲ注意サレタルモ何等ノ苦痛ナシ。P並ニ太陽燈ニテ治療セルニ2週間後ニハ白斑輕度トナリ1箇月後ニハ全治セリ。

第32例 三上某 40歳 女 農

診斷 癢風

主訴 脊幹並ニ四肢ニ於ケル瘙痒性發疹

既往現症並ニ經過 既ニ18年前ニ左胸部ニ數箇ノ淡褐色斑點アリシモ何等自覺的症狀ナカリシタメ放置セルニ漸次下腹部ヨリ上腿、上肢及ビ10年前ヨリハ背部ニ迄モ擴ガリテ瘙痒感可ナリ大ナリキ。殊ニ夏季ニ於テ甚ダシトイフ。現在ニテハ胸部背部ニ白色斑點ガ散在性又ハ集合性ニ存シ腋窩部ヨリ腰部ニ至ル

間ニハ褐色斑アリ、表面ニ鱗屑ハ見エザルモ摩擦スレバ之ヲ生ズ。兩肘屈側面ニモ小兒手掌大ノ褐色斑アリテ摩擦スレバ鱗屑ヲ生ズ。上腿伸側ニモ手掌大ノ同様ノ斑點アリテ周圍ヨリ明劃ニ境セラル。Pヲ1日1—2回塗布セシメシニ11日目ニハ落屑後大イニ輕快セルヲ見ル。更ニ1週間後ニハ殆ド全治セルヲ見タリ。

第33例 片岡某 24歳 男 商

診斷 癩風

主訴 下腹部ニ於ケル暗褐色斑點

既往現症並ニ經過 5—6年前ヨリ下腹部ニ暗褐色斑點アリ、漸次擴ガリテ背部ニモ及ビタルガ治療ニヨリ背部ノモノハ治癒セルモ腹部ノモノハ未ダ治セズ。時ニ輕度ノ瘙痒ヲ訴フ。現症ハ腹部全體ニ扁豆大ノ灰色斑存シ鼠蹊部ニモ數箇ノ斑點存在ス。Pヲ使用シ石英燈ヲ併用セルニ1週間後ニハ殆ド治癒シ18日後ニハ全治セルヲ見タリ。

總 括

上述33例ニ就テ病類別ニ纏メ考按スルニ

汗疱状白癬

番 號	患 者	性	年 齡	經 過
1	田 中	♀	18	21日後輕快
2	石 井	♂	41	6日後輕快
3	田 中	♂	29	18日後殆ド全治
4	栗 田	♂	16	3月全殆ド全治
5	山 本	♂	21	30日後輕快
6	石 故	♂	39	45日後全治
7	岡 崎	♂	30	14日後全治
8	新 谷	♀	34	14日後輕快
9	浅 野	♀	42	22日後殆ド全治
10	宮 崎	♂	26	14日後全治
11	石 井	♂	33	18日後全治

趾 間 白 癬

番 號	患 者	性	年 齡	經 過
1	桑 田	♂	35	16日後輕快
2	加 來	♂	21	10日後全治
3	河 合	♀	68	2月半後殆ド全治
4	長 谷	♂	35	2月後治療中
5	氏 平	♂	30	7日後全治

汗疱状白癬 11例ニ就テ見ルニ石井某ノ1例ハ6日後ニ症狀輕快セルヲ認メタルモノナルガ其後來ラズ。栗田某ハ3箇月後未ダ全ク治癒セザルガ之ハ本剤ヲ初メ少許用ヒ途中ニテ中止セルモノナリ。11例中半數以上ハ2—3週間ニシテ殆ド全治又ハ全ク治癒セルモノニシテ本剤ハ

汗疱状白癬ニ用ヒテ確實ニ效果アルモノナルコトヲ信ズルモノナリ。

趾間白癬5例ニ就テ見ルニ加來某ハ本剤使用後10日ニシテ早クモ全ク治癒セルヲ見、氏平某ハ本剤塗布2-3回ニシテ1週間後ニハ落屑アリテ治癒セルタメ本剤ノ使用ヲ中止セルガ3箇月後未ダ再發ヲ見ズ。斯ノ如ク趾間白癬ノ輕症ナルモノニアリテハ甚ダ良好ナル経過ヲトルモ他ノ3例ニ就テ見ル如ク頑固ナルモノニアリテハ數箇月ヲ要シ治癒甚ダ困難ナルモノノ如シ。

汗疱状白癬竝ニ趾間白癬ニ本剤ヲ使用スルニ當リテ廣汎ナル潰瘍面又ハ濕潤面アル時ハ塗布ニ際シ甚ダシキ疼痛アルタメ使用不可能ナルコトアリ。

小水疱性断髮疱疹

番號	患者	性	年齢	経過
1	尾崎	♂	21	30日後殆ト全治
2	岡野	♂	56	14日後殆ト全治

小水疱性断髮疱疹ニ於テモ本剤ハ確ニ有效ナリ。

頑

癬

番號	患者	性	年齢	経過
1	森本	♂	19	4日後輕快
2	梶並	♂	20	15日後全治
3	大道	♂	30	7日後全治
4	根馬	♂	18	26日後全治
5	石賀	♀	20	14日後全治
6	石田	♂	74	30日後全治
7	長谷井	♂	35	10日後殆ト全治
8	渡邊	♀	40	21日後全治

本剤ハ頑癬ニ用ヒテ特ニ效果アルモノノ如ク8例ノ頑癬患者ニ於テ見ルモ何レモ比較的短時日中ニ良好ナル経過ヲトリテ治癒セリ。且頑癬ニアリテハ汗疱状白癬ノ如ク疼痛ヲ訴ヘルコト殆ドナキタメ本剤ハ頑癬ノ良好ナル治療薬タルベシ。柳原、坂本、小林氏等ハ多數ノ患者ニ就テ本剤ヲ使用シ頑癬ニ效果ナカリシヲ云ヘルガ我が教室ニ於ケル使用例ハ上述ノ如ク良好ナル治療成績ヲ擧ゲタリ。

癬

風

番號	患者	性	年齢	経過
1	栗坂	♂	17	50日後全治
2	山成	♀	18	22日後殆ト全治
3	内田	♂	21	14日後全治
4	加藤	♀	29	7日後殆ト全治
5	三宅	♀	21	20日後殆ト全治
6	中村	♂	23	30日後全治
7	三上	♀	40	18日後殆ト全治
8	片岡	♂	24	18日後全治

癩風患者8例ニ於ケル本剤ノ使用成績モ亦良好ニシテ多ク2-3週間ニシテ治癒セルヲ見タリ。柳原，坂本，小林氏等ハ本剤ハ癩風ニモ效果ナカリシコトヲ云ヘルモ是亦我々ノ治驗例ニテハ相當ノ成績ヲ擧ゲタルモノナリ。

余等ハ總テノ表在性絲状菌病ニ對スル經驗ナキモ，大體前述ノ治驗ニ依テ之ヲ察知シ得ベシ。

以上5種ノ疾患中特ニ本剤ヲ使用シテ特效アルハ汗疱状白癬，頑癬及ビ癩風ノ3疾患ニシテ小水疱性疱疹之ニ次ギ趾間白癬ニ於テハ輕症ハ速ニ治癒スルモ頑症ハ抵抗可ナリ強ク他剤ト併用スルノ止ムヲ得ザルコトアリ。本剤ノ作用ハ落葉状鱗屑ヲ形成シテ之ト共ニ菌ノ脱落ヲ來スモノノ如ク1日數回ノ塗布ニテハ鱗屑形成甚ダシキガ故ニ1日1-2回ノ塗布ニテ充分ナリ。之ニテモ落屑強ク或ハ潮紅（稀ニハ皮膚炎ヲ起スコトアリ）ヲ増ス如キ場合ニハ2-3日使用ヲ中止シ刺戟症狀ノ去ルヲ待チ原病尙ホ残ラバ再び使用スルヲ可トス。刺戟症狀強カラズバ持續使用シテ差支ナシ。

小水疱或ハ其ノ後ノ糜爛ニシテ小ナルモノナラバ塗布ニ當リ多少疼痛アルモ堪ヘ得ラレザル程度ニ非ズ。然レドモ糜爛面大ナルカ深キ場合ニハ疼痛可ナリ著シキガ故ニ暫時軟膏療法ヲ行ヒ濕潤面ノ乾燥スルヲ待チテ本剤ニ移ルベキナリ。

頑癬或ハ小水疱性疱疹ノ如キハ他剤ニテモ本剤ト同様ノ成績ヲ擧ゲ得ルコトアレド本剤ハ水溶液ニシテ使用シ易ク，惡臭ヲ放タズ，且清潔ナル點ハ他剤ニ優越セリ。但シ顔面ニ於ケル白癬等ニ對シテハ本剤使用後鱗屑形成餘リ強キニ過グレバ美容ヲ害スルガ故ニ2-3日ニ1回ノ塗布法ニテ可ナリ。

若シ夫レ癩風ニ至リテハ軀幹ニ多キ故膏剤使用ノ不便大ニシテ本剤ハ「サリチル」酸酒精ヲ遠ク凌駕シ寧ロ其ノ特效薬ト稱スルモ敢テ誇張ニ非ズ。

由來皮膚病ニ膏剤使用ハ甚ダ不便多クシテ總テ水剤ヲ塗布シ且衣服ヲ汚染セザル物アラバ其利益甚ダ大ナルベキヲ信ズ。本剤ハ實ニ其代表ト看ルベキモノナリ。但シ本剤ハ急性濕疹ニハ禁忌トスペク，慢性濕疹ノ浸潤アル者ニハ效果充分ナラザル故矢張膏剤ヲ使用スベキモノトス。

結論

余ハ坂本氏ノ創製セル薬剤ヲ表在性絲状菌病ニ使用シ，汗疱状白癬，頑癬及ビ癩風ニハ著效アリテ小水疱性白癬ニモ效果見ルベキアルヲ知レリ。趾間白癬ニハ初期ニハ效アルモ後期ニハ頑固ナル者アリ。

本剤ニ似タル成績ハ他剤ニテモ或者ニテハ認ムルコトアレドモ清潔ニシテ使用ニ便ナルハ1特徴ト做スベク表在性絲状菌病ニ對スル優秀ナル1製剤タルコトヲ認ムルモノナリ。

拙筆ニ當リ本論文ヲ公ニスルコトヲ命ゼラレ終始懇篤ナル御指導並ニ御校閱ヲ賜ハリタル皆見教授ニ深謝ス。

文獻

柳原，坂本，小林，皮膚科雑誌，29卷，474頁。